

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2022年5月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**70社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,564件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**1,025件**の対象を検知しISPへ通知。

NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

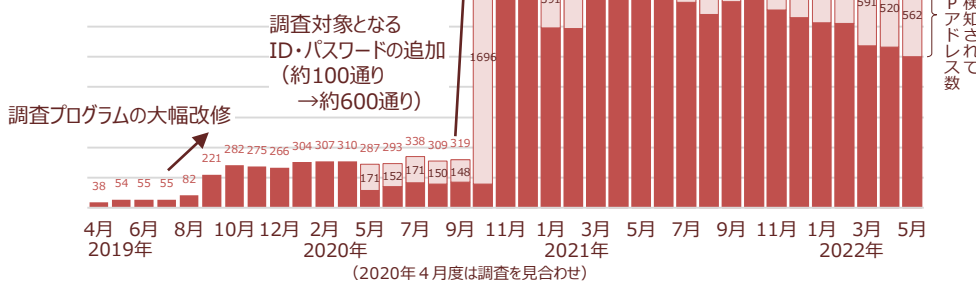
1,564件 (4月度:1,585件)

(参考) 2019年度からの累積件数: 39,226件
ID・パスワードが入力可能だったもの: 9.9万件

* 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)

増加要因: 調査プログラムの改修や
調査対象アドレスの拡大等

減少要因: ISPによる注意喚起により
利用者が対策実施



NICTER注意喚起※の取組結果

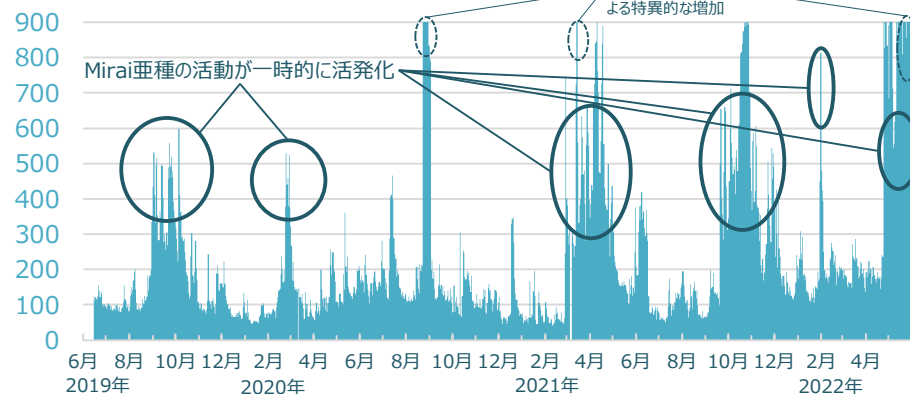
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均1,025件 (4月度:376件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均247件
最小: 40件(2021/2/10) / 最大: 3,227件(2020/8/24)

** NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



✓ NICTER注意喚起における2022年5月の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、IPアドレスの頻繁な切り替わりの発生と国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。